

令和 7 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	79	松本深志 高等学校	全 課程	普通 科
----------	----	--------------	------	------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
教育基本法の理念と本学建学の精神とを根底とし、教育課程の編成・授業・日常の生徒指導などのあらゆる機会にそれらを具現化する。	社会に生きる一員としてのあり方、社会での生き方に関する教育を、教科やホームルーム、特別活動等、学校の教育活動全般を通じて行い、家庭・地域とも連携しながら、人間の尊厳に重きを置き、他者や自分と異なる考えに対する寛容さをもつことができる、社会的な存在として自覚ある個人の育成を目指す。全体的指導と並行して、生徒の成長と実態に応じたテーマを各学年で設定し、取組を行う。
重点目標	
1 広い分野での確かな学力の育成を図りつつ、進路実現に向けた学習活動を支援する。 2 自治活動を保障し、自治的精神を育成する。 3 探究的学びを含め、より効果的な指導方法を追究し、学びの質の向上を図る。 4 いじめ・体罰のない安心安全な学校環境を確保する。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	多様化の時代に、様々な情報を取捨選択し、社会に生きていく者としての基本的な倫理観や規範意識をもたせる。	長期休業中に、近隣の事業所や諸機関で研修を行い、社会に目を開かせ、地域社会の一員としての意識と自覚をもたせる。また、大学連携ゼミの活動を通して、自己の興味関心を深め、キャリア取得の意識を図る。	SNSや情報機器に関する講演等により情報モラルを身につけさせる。薬物乱用に関する研修等により知識の浸透と注意喚起を図る。自転車等の交通マナーや社会的ルールを再確認させる。	様々な活動への積極的参加を促し、集団の一員としての自己の立場と役割を自覚させ、協力・協調の精神を育てる。	国語	様々な教材を通して、社会性を学び習得できるようにする。
					地理歴史	日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化・地勢的要因の特色について学び、認識を深めさせる。
					公民	我が国の民主主義国家における市民としての責任と義務、社会の一員としての役割を考えさせる。
					数学	社会や科学の発展に寄与してきた偉大な数学者のあり方や生き方に触れたり、授業中でお互いに発表や意見交換活動をしたりする中で、人間としての多様な価値観の涵養を図る。
2 年	平和、人権、我が国に起こっている事象に関する問題について考えさせ、未来志向、歴史的及び広い視点に立って人間の存在を考える態度を育てる。	県外の企業・大学等の諸機関で研修を行うことにより、より広い視野を身に付けさせるとともに社会で活躍する母校の先輩とのつながりを意識させる。	平和や人権の問題を扱った映画等の鑑賞会あるいは研修を実施し、人間本来のあり方や生き方を考えさせるとともに、いじめ、差別を許さない心を育てる。	学校の中堅的な立場を認識して、下級生に対して指導的立場にあると同時に、次年度は生徒集団の中心的存在となるべき立場でもあることを自覚させる。	理科	科学者や科学の功罪に触れることで倫理観や責任感を養うとともに、観察・実験を通して他者と協力することの大切さを学ぶ。
					保健体育	様々なスポーツを体験習得することで、他者への思いやりやルール、社会性を守ることなどを学ぶ。
					芸術	表現活動を通して、自他の違いを認め、お互いの個性を尊重できる力を育てる。
					外国語	国際社会情勢に関する学習や多様な価値観や考え方に触れることで、他者を受け入れる力や異文化を理解する力を醸成する。
3 年	選挙権をもつ主権者として、社会に対する関心をもち、また実社会に生きる消費者としての認知や心構えをもたせる。	進路選択を通して、自己の将来について具体的に考えることで、自身の未来の設計や将来像を明確に意識させる。	選挙管理委員会や消費者庁の啓発資料及び研修等を利用して、社会人としての権利と責任を自覚させつつ、具体的に架空請求や個人情報漏洩等、実社会に存在する身近な危険も認知させる。	学校の諸行事を中心的・主体的に運営させることにより、自治の精神や仲間と協力することの必要大切さ、事後の達成感・満足感を体感させ、反省を下級生に伝えることで、未来の活動を支える意義を	家庭	社会における多様な生き方について学び、理解し、社会の一構成員として自立・共生を考える。
					情報	生活に不可欠となった情報機器の使用法、使用する上での情報モラルに利用について、授業やグループ学習の中で考えさせる。
					総合的な探究の時間	個人の生き方、他者との関係、多様化する社会の仕組み、今までの自然科学を超えた事象、多種多様な思想、歴史的・文化的な事柄に興味を持ち、探究的な活動を通して思考を深めることにより、未来のよりよい社会を構築する意欲と技量を学び取る。

家庭・地域 との連携	学級懇談会や保護者面談等を通して保護者・生徒・教師の思いを交換する。大学連携ゼミや尚学塾の特別講義で同窓生と交流すること等を通して、生徒のキャリア意識を醸成する。また、生徒会地域交流委員会を中心とする地域フォーラム「鼎談深志」を通して学校が地域社会の一員であることを自覚する。さらに、とんぼ祭や合唱コンクール等の行事を家庭・地域にも公開し、相互の理解と交流を深める。
---------------	---